



点検・維持 管理推進

10月10日は住宅部品点検の日

給水栓の点検・維持管理に対する 取り組みについて

一般社団法人日本バルブ工業会 水栓部会 保証小委員会



一般社団法人日本バルブ工業会について

工業会設立の経緯

日本バルブ工業会は、日本のバルブ工業の進歩発展に寄与すること及び日本経済の発展に貢献することを目的として、1954年3月21日に、国内の主要バルブ製造業者が参加し、日本弁工業会として設立されました。2013年4月1日からは公益法人制度改革に関する法律が成立したことに基づき、「一般社団法人日本バルブ工業会」として新たなスタートを切りました。

組織について

バルブ工業会の組織は設立以来「バルブ」、「自動弁」、「水栓」の3つの専門分野の部会を設置し、各種対策を実施するために必要な事項を審議する多くの委員会を設け様々な施策を行ってまいりました。また、国内を4地区に分け、それぞれの地区に支部を設け、各地区会員を対象とした地区活動を行う組織として会を運営しています。

当工業会設立の経緯

1941年 3月	日本バルブコック工業組合連合会
1943年 7月	日本弁製造工業組合
1943年 11月	日本弁製造統制組合
1945年 12月	日本バルブコック工業協会
1948年 8月	バルブ協会
1949年 8月	全国バルブコック協議会
1954年 3月 21日	日本弁工業会(設立)
1962年 8月	日本バルブ工業会(名称変更)
1979年 7月 31日	社団法人日本バルブ工業会(組織変更)
2013年 4月 1日	一般社団法人日本バルブ工業会(法人移行)



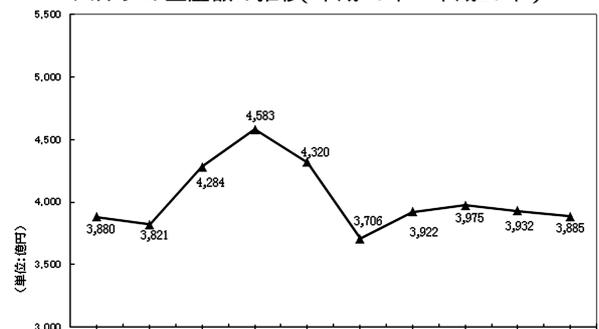
バルブの10年間の生産の動向について (平成16年～平成25年)

平成3年のバブル崩壊以降、バルブ業界は平成7～9年頃の一時期を除き、国内市場の需要不振が長く続きました。平成10年には国内生産額が対前年比で約13%減少するという大きな落ち込みがあり、その後も国

内生産額の減少傾向は止まらず、平成15年には3,689億円にまで落ち込みました。これは、それまでの10年間で最も高かった平成9年の国内生産額5,097億円に対して約7割の規模になります。この頃には大手メーカを中心に海外生産シフトも進んでいたため、国内に限定したこれら数字の落ち込みは割り引いて考える必要はあるものの、国内市場が今後も規模縮小の方向に進むとの見通しから、より多くのメーカが海外での製造・販売に力を入れることとなりました。

しかし、国内生産額は平成18年から一旦回復状況に戻り、平成19年には4,583億円に達しました。これは、平成14年の後半から始まっていた日本経済全般の景気回復の影響が遅まきながらバルブ業界にも波及したこと、また、新興国を中心に世界経済の伸びが高かったことによる輸出の増加が、バルブ生産額の回復に寄与したものと思われます。

バルブの生産額の推移(平成16年～平成25年)



出典：経済産業省「鉄鋼・非鉄金属・金属製品統計」



給水栓の点検・維持管理に関する 取り組みについて

給水栓について

「給水栓」とは、JIS規格 JIS B 2061(給水栓)において、「水道水を流す給水管に取り付ける水栓で、単水栓、湯水混合水栓、止水栓、ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓」と定義されています。本稿では、主に家庭で身近に利用される単水栓・湯水混合水栓の点検等についてのバルブ工業会の啓発活動について記述します。

給水栓の種類



取り組みを行っているバルブ工業会の組織

給水栓のなかで、単水栓・湯水混合水栓といった一般の方々に広く利用いただく水栓の点検・維持管理について、バルブ工業会内の水栓部会内に設置されている「保証小委員会」にて周知活動を進めております。同委員会の主な活動内容を次に記述します。

水栓部会 保証小委員会の活動概要

活動テーマ	活動状況
(1)水栓金具の安全な使い方の施策	警告表示に関するガイドライン作成や水栓金具の安全な使い方について各種リーフレット等の作成と工業会ホームページでの公開及び会員メーカーへの周知。
(2)水栓金具の維持管理のための施策	水栓金具の維持管理について、定期点検の必要性や凍結防止方法などの各種リーフレット等の作成と工業会ホームページでの公開及び会員メーカーへの周知。
(3)セミナー等での施策の周知	関連する展示会等での水栓の維持管理に関するセミナーの開催。
(4)製品事故の情報共有と事故対策のための施策	・事故情報と各社対応状況の情報共有。 ・関連法規の再確認。 ・事故対応マニュアルの作成と更新。

給水栓の点検・維持管理の周知について

給水栓については、利用される方が建築物の一部であり点検・維持管理を行わなくても不具合は起こらないとの認識を持たれている場合があるかも知れませんが、給水栓には使われて無くなっていく消耗部品や摩耗や劣化する摩耗劣化部品などが使われており、定期的な点検や維持管理が必要になります。

バルブ工業会では、給水栓の点検・維持管理について、定期点検や凍結防止の方法などの各種リーフレットを作成し、これらを工業会ホームページへ掲載すること及び関連する展示会等でセミナーを開催することによって、給水栓を利用される方に対する点検・維持管理の必要性の周知とその実施の促進を行っております。また、給水栓の安全な使い方についても、周知活動ツールや表示に関するガイドラインを作成し、工業会ホームページへの掲載やメーカーの活用を推進しています。

給水栓の点検・維持管理に関する課題

給水栓の点検・維持管理については、その必要性を利用者に知っていただくことが大切であり、当会では上述のようにホームページ等やメーカーから周知の促進などを行っておりますが、より多くの利用者の方に点検・維持管理の必要性を周知できる方法を見出すことが今後の課題となっております。



<http://www.j-valve.or.jp/>

水栓について

製品安全注意について

- ・やけどに注意
- ・樹脂めっき割がれによるケガに注意

水栓の安全な使い方

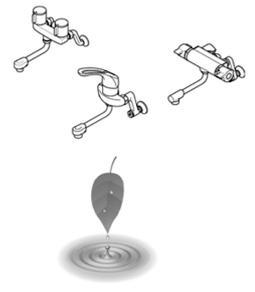
- ・取扱説明書をよく読んでお使いください
- ・ケガ、やけどをしないために
- ・漏水による家や家財の損害を出さないために
- ・其他のご使用上の注意
- ・まめ知識

水栓のQ&A

- ・水栓のお手入れって何をすればいいの？
- ・シャワーから水がボタボタするのは故障？
- ・シャワーの吐水が飛び跳ねる。対処方法は？
- ・サーモ目盛りどおりのお湯が出ない。対処方法は？
- ・なぜ水栓を止めるとドンドン音がするの？
- ・なぜ寒い日に水栓が壊れるの？
- ・水栓の性能を維持するためにどうしたらいいの？
- ・井戸水は使っていいの？
- ・水栓の材質は人体に影響ありませんか？

水栓の維持管理

- ・水栓(蛇口)の種類と寿命
- ・水栓の維持管理について
- ・水栓金具を快適にご使用いただくためのお願い
- ・水栓凍結のご注意



日本バルブ工業会のホームページ
(水栓に関するページ)

水栓（蛇口）の種類と寿命

水栓の種類 機能によって4つに分かれるよ

			
単水栓	2ハンドル	シングルレバー	サーモスタット

水栓にも寿命があります いつまでも使えるわけではないんだね

		
---	---	--

部品等が劣化し、水漏れや、水が止まらなくなる等不具合が起こります。

水栓を長く使っていただくために 毎日使うから大切にしよう

みなさんがおうちの水栓をより長くご使用いただくために、日頃から水栓のお手入れが必要です。水栓に使われている部品やパッキンなどは、定期的な交換が必要です。より長くご使用いただくために、水栓のこまめな点検・部品の交換などをお願いします。

水栓の凍結防止について

ホーム
しくみ・原因
予防方法
解冻方法

＜凍結の予防方法＞

保温する


窓を閉める


水栓に布などを巻く

水を流す


少量の水を出しておく

水を抜く

水は家中の配管だけでなく、各所の水栓にも溜まっています。



台所 洗面所 洗濯機 お風呂 トイレ 屋外

寒冷地向け水栓の水抜き方法は、各メーカーへお問合せください。

給水栓の点検・維持管理の周知のためのリーフレット等
(水栓の種類と寿命 / 水栓の凍結の防止)